

環境経営レポート



対象期間：2020年4月～2021年3月

発行日：2021年10月29日

目次

1. 会社概要
2. 対象範囲
3. エコアクション 21 組織図
4. 許可証、登録証一覧等
5. 環境経営方針
6. 環境経営目標
7. 環境経営目標の実績
8. 活動計画・取組結果と評価、今後の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、
訴訟等の有無
10. 代表者による全体評価と見直し・指示

1. 会社概要

(1) 対象組織

① 事業所名

株式会社グローバー

② 代表者

代表取締役 平田 勝治

③ 環境管理責任者 森脇 勇記

TEL:048-954-7635 FAX:048-954-7636

e-mail:y_moriwaki@global.co.jp

環境管理事務局

柴崎 彩香 TEL:03-3527-1020 FAX:03-3527-1021

e-mail:a_shibasaki@global.co.jp

④ 所在地

本社 東京都千代田区神田東松下町 13 番地

三郷事業所 埼玉県三郷市鷹野 2 丁目 408 番地 1

※2015 年 2 月 27 日より本社を東京都千代田区に移転した。

(2) 主な事業内容

グリストラップ清掃事業、排水管清掃、給排気系統清掃
害虫駆除、産業廃棄物収集運搬業、給排水、緊急対応

事業規模

① 創業 2005 年 廃棄物収集運搬は 2005 年 1 月 14 日より開始

② 売上高 12 億 300 万 (2019 年 4 月～2020 年 3 月)

③ 資本金 1000 万円

④ 従業員数77人

⑤ 述べ床面積 359.38 m² (本社)

142.02 m² (三郷事業所)

⑥ 収集運搬の実績等

・収集運搬の実績 1652t (2020年 4 月～2021年 3 月)

・収集運搬料金 種類、数量、排出場所や状況により異なります。

また、見積りは無料で御見積り致します。

2. 対象範囲

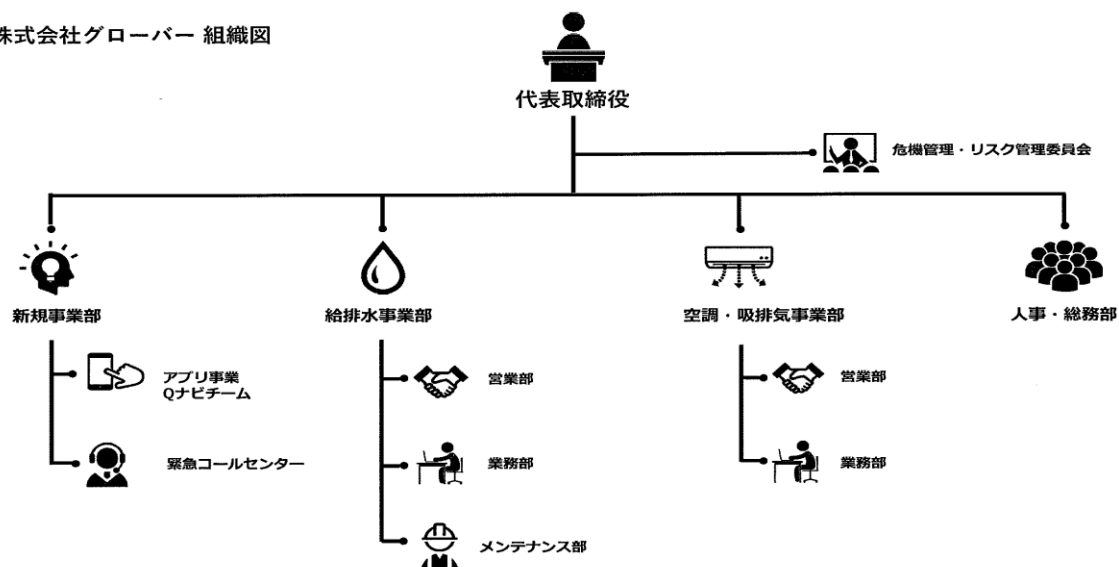
- ①全組織・全活動：株式会社グローバー
- ②対象事業所：本社：東京都千代田区神田東松下町 13 番地 神田プラザビル2階
三郷事業所：埼玉県三郷市鷹野 2-408-1
- ③レポートの対象期間・発行日等
 - ・環境活動レポートの対象期間：2020年 4 月 1 日～2021年 3 月 31 日
 - ・環境活動レポートの発行日：2021 年 10 月 29 日

【作業工程】



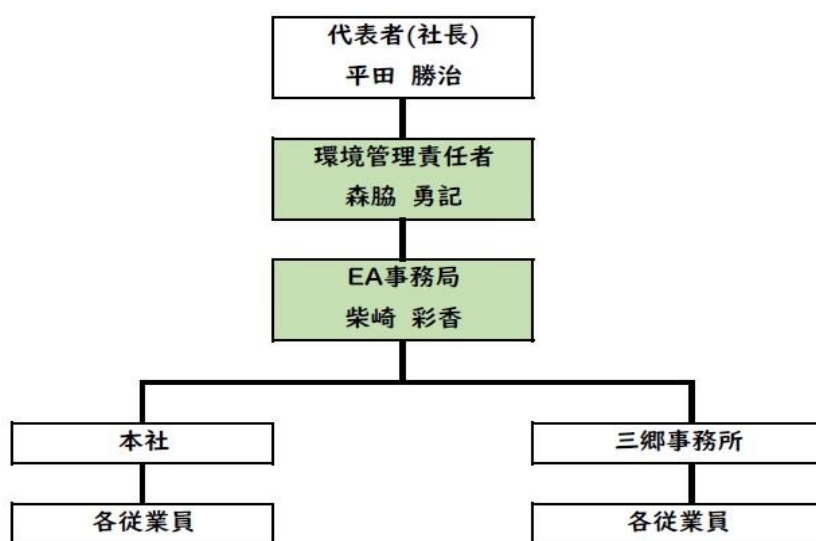
3. 会社組織図・エコアクション21組織図・役割等

株式会社グローバー 組織図



株式会社グローバー
エコアクション21組織図

作成日 2020/10/6
作成者 柴崎彩香



(2)

・安全衛生推進者養成講習修了証

第 151118061 号

・安全運転管理者選任届出済証

第 L000142 号

・特別管理産業廃棄物処理業修了証

第 519001062 号

・甲種防火管理新規講習修了証

第 1207751 号

・東京都優良事業者認定証 産廃プロフェッショナル

4-19-D0091

・酸素欠乏危険作業主任者

(3) 廃棄物収集運搬車両

車両一覧情報								
車種	ナンバー	長さ (cm)	幅 (cm)	高さ (cm)	総重量 (kg)	積載量 (kg)	装備	車検
2t箱	春日部800す5811	545	193	207	6454	2500	VQ・手作業	7月4日
2t箱	春日部800す6263	550	189	208	7075	2750	VQ・高圧	1月24日
3tリール	春日部800す5628	544	205	234	7905	3600	VQ	10月3日
3tリール	春日部800す6073	543	217	237	7955	3400	VQ	2月6日
3tリール	春日部800す6503	547	207	237	7915	3700	VQ	10月3日
2t箱ゲート	春日部400ち3997	462	169	196	4655	1750	高圧・ゲート	5月16日
2t箱ゲート	春日部100せ1864	476	169	195	4235	1500	ゲート	4月24日
2t箱	春日部400つ3760	466	169	196	3225	1500		2月27日
2t箱	春日部400つ7761	467	169	197	1750	1500		4月8日
2t箱	春日部400て1689	458	169	1985	3275	1150		1月23日
2t箱	春日部400き2618	468	169	198	3720	1500		6月20日
2t箱	春日部400て4886	469	168	199	3665	1500		6月10日
2t箱	春日部400て6924	469	169	195	3375	1500		5月16日
2t箱	春日部400て7988	468	169	199	3855	1500		11月5日
軽バン	春日部480き4673	339	147	187	1350	350		4月13日
キャラバン	春日部400て8665	469	169	199	3115	1250		3月1日
キャラバン	春日部400て8979	469	169	199	3275	1250		4月13日
キャラバン	春日部400と456	469	169	199	3125	1250		12月8日
キャラバン	春日部400と1382	469	169	199	2975	1000		

5. 環境経営方針

環境経営方針

わが社の経営理念『この国の食文化を支える。』とし、社業を通してお取引先の三R活動に寄与してまいりました。これからもエコアクション21参画によりさらなる社員のレベルアップをはかり、循環型社会の形成に継続して努めてまいります。

- 一、 環境に関連する法規則・条例等と遵守し、環境配慮に努めます。
- 二、 環境負荷の低減になる車両の購入および資材、事務用品等のグリーン購入を推進することにより、環境に配慮した調達を進めます。
- 三、 エコドライブに努め、省エネルギーを推進します。
- 四、 廃棄物の削減・再利用活動に取り組めます。
- 五、 環境にやさしい商品およびサービスを販売します。
- 六、 環境方針を全社員に周知徹底し、全員で環境への取り組みを行います。

制定 平成 23 年 11 月 1 日

改定 令和 2 年 9 月 1 日

株式会社グローバー代表取締役 **平田勝浩**

6. 環境経営目標

◎環境経営目標：中長期目標（2017 年～2021 年）

■合計■※2017 年度 1%削減 2018 年度 2%削減 2019 年度 3%削減 2020 年度 4%削減

取り扱い項目	単位	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	146227.29	144750.25	143273.2	141796.16	141796.16
電気使用量	Kwh	54345.06	53796.12	53247.18	52698.24	52698.24
水使用量	m ³	293.33	290.37	287.41	284.44	284.44
事務系一般廃棄物量	kg	9529	9433	9336	9240	9240
化学物質使用量	本社・三郷事業所ともに使用していません。					

■本社■

取り扱い項目	単位	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	15275.2	15120.91	14966.62	14812.32	14812.32
電気使用量	Kwh	30550	30242	29933	29624	29624
水使用量	m ³	130	128	127	126	126
コピー用紙使用量	kg	5975.64	5915.28	5854.92	5794.56	5794.56

■三郷■

取り扱い項目	単位	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2020 年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	130952.09	129629.34	128306.59	126983.8	126983.8
電気使用量	Kwh	21719	21499	21280	21060	21060
ガス使用量	kg	10.49	10.39	10.28	10.17	10.17
ガソリン使用量	L	12882	12752	12622	12492	12492
軽油使用量	L	34353	34006	33659	33312	33312
事業系一般廃棄物量	kg	95239	9433	9336	9240	9240
水使用量	m ³	166.3	164.6	163	161.2	161.2

■環境サービス■【汚泥の再利用の検討】汚泥の燃料化に関しては、他社（TBM）と提携し

汚泥の燃料化を継続し検討する。2020 年度目標未達成の為現状維持。

【環境情報の発信】当社ホームページでの環境情報の発信

*化学物質は使用がないので引続き把握管理する。

7. 環境経営目標の実績（2020 年 4 月～2021 年 3 月の目標と実績の比較）

■ 合計 ■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	141796.12	211,773	×
電気使用量	Kwh	52698.24	65431	×
水使用量	m ³	284.44	274	○
事業系一般廃棄物量	kg	9240	26379.00	×
化学物質の使用量	本社・三郷事業所ともに使用していません。			

■ 本社 ■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	kg-CO2	14812.32	18878.0	×
電気使用量	Kwh	29624	39827	×
水使用量	m ³	126	130	×
コピー用紙使用量	枚	5794.56	91500	×

■ 三郷 ■

取組項目	単位	目標	実績	達成状況
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	126983.8	192882.4	×
電気使用量	Kwh	21060	25604	×
ガス使用量	m ³	10.17	6.0	○
ガソリン使用量	L	12494	22470.93	×
軽油使用量	L	33312	49850.93	×
事業系一般廃棄物量	kg	9240	26379	×
水使用量	m ³	161.2	133	○

※目標達成状況:○目標達成 ×目標未達成

・CO2 排出係数は、2016 年度東京電力㈱の実排出係数 0.474kg-CO2/kWh を使用した。

8. 環境経営計画・取組結果と評価、今後の取組内容

環境活動計画	取組結果と評価	今後の取組内容
二酸化炭素排出量削減 2017年4月から2018年3月の基準値に対して3%削減が目標。 【目標達成手段】(電力) ・空調温度管理徹底 ・未使用機器の電源オフの徹底 ・冷暖房の使用台数の規制 【目標達成手段】(燃料) ・エコドライブの徹底 ・効率のいいルート作成 ・アイドリングストップ徹底	【全体】 会社全体の二酸化炭素排出量は目標値に対し50%増となった。 【電力】 三郷の電力使用量が目標値に対して20%の増加だが、本社は年間の電力使用量が30%増となった。夏場の3か月が目標値に対して達成できてなかったのが、夏場のエアコン管理を見直すことにする。 【燃料】 ガソリン使用は80%、軽油は50%と共に増加となった。案件自体昨年に比べて2486件増加しており、車の台数も2台増えたので全体的に使用量が上がっている。	(本社・三郷) ・室温点検チェック表の記入・実践を周知・励行する。 ・ブラインドなどを活用し、エアコンの温度を高め設定する。 ・使用していない部屋のエアコンはこまめに消す。 ・効率の良い作業ルートを再構築していく。 ・空調温度を徹底
廃棄物排出量削減 2017年4月から2018年3月の基準値に対して3%削除が目標。 【目標達成手段】 ・分別の徹底 ・ファイルの電子化、印刷物の削除 ・社内文書の裏紙使用の徹底	三郷事務所の廃棄物排出量は目標値に対し285%となった。 上記の通り、昨年に比べて案件数が増え、消耗品の廃棄物が増えた。裏紙も以前はリサイクル回収をしていたが、近場になくなったので大量にシュレッダーをかけることになりその分廃棄物量が増えた。	・目標達成手段は継続 ・作業消耗品の見直しを実施する。 ・裏紙を使用することでコピー用紙の節約。
総排水量の削減 2017年4月から2018年3月の基準値に対して3%削除が目標。 【目標達成手段】 ・洗車用の水道に節水コマの取付 ・テプラによる節水意識の周知徹底	会社全体の総排水量は目標値に対し4%減となった。 本社は本年新卒が7名入った影響で、三郷は案件増加と車2台購入が原因と考えられる。	(本社・三郷) ・継続して実施する。

グリーンマーク、エコマーク表示製品の購入推進	積極的にグリーンマーク、エコマーク表示商品を購入した。	継続して実施する。
(環境サービス) 汚泥のリサイクル化 汚泥の再利用の検討 ホームページでの環境情報の発信	・汚泥の燃料化に関しては、公共機関ではなく、他社(TBM)と提携して汚泥の燃料の精製をした(三郷) ・ホームページでの環境情報の発信(本社)	・継続し実施する。
その他	特になし。	

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

【適用される法令等】[三郷事業所]

法律・条例名	規制内容	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の収集運搬	許可取得、適正処理
三郷市廃棄物の処理及び再利用並びにし 現物持ち去り防止に関する条例	事業系一般廃棄物の処理	適正処理
浄化槽法	浄化槽の定期点検	定期点検の実施
フロン類の使用の合理化及び管理の適正 化に関する法律(フロン排出抑制法)	第1種特定製品の管理 フロン漏洩時の報告	業務用エアコンの簡易点検の 実施

【遵守状況等】

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘または環境に関する苦情は、過去3年以上ありません。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

【環境経営方針については】

変更無しで継続

【環境経営目標及び環境経営計画については】

三郷事務所は現在も作業件数の増大とともにメンテ職社員の人数と車両も増えている。

事務所は日中、メンテ職は夜間から早朝にかけてオフィスに在席するので、オフィスの長時間使用につながり、電力、水道の使用量に影響がある。そのような中で、

冬季、事務職が給湯器の使用においてこまめに電源を落とすなど工夫しガス使用量、

メンテ職が洗車において水使用量を削減できた。

今後もルールを徹底していきたい。

神田オフィスはIT化を進める中でコピー用紙削減につなげてきたと思う。

日中営業職が不在の時間も多く、使用していない部屋のエアコンをこまめに消すなど空調管理の成果を出していける可能性があるのでルールを徹底していきたい。

環境経営を実施していることを日常の業務の中で、従業員が意識できるよう教育指導を徹底していきたい。

【実地体制】

変更無しで継続